

## 薩摩硫黄島

### 概 況

火山活動は、やや活発な状態です。  
遠望観測および上空からの観測では、噴煙活動に変化はありませんでした。

### 噴煙活動の状況

噴煙は白色・中量で、噴煙高度の最高は 18 日の 600m(1 月:600m)でした(図 2、図 3)。  
有色噴煙や島内での降灰は確認されませんでした。

### 地震・微動活動の状況

1 月 25 日から 2 月 26 日まで、雷災のため電送装置故障により震動観測は欠測しました。  
2 月 26 日 17 時から 29 日 24 時までの A 型地震の回数は、1 日あたり 0 ~ 3 回で月回数は 6 回(1 月:43 回)、B 型地震の回数は 1 日あたり 1 ~ 16 回で月回数は 34 回(1 月:114 回)でした(図 2、図 3)。また、29 日 15 時 22 分より火山性連続微動が発生しています(図 2 ~ 4)。

### 上空からの観測の状況

26 日に国土交通省九州地方整備局の協力を得て、上空からの観測を実施しました。  
噴煙の状況は、噴煙量は中量、色は白色で高さ 100m 程度に上がっていました。火口内の状況は噴煙のため詳細は不明でした(図 5 ~ 7)。  
熱映像装置による観測では、硫黄岳火口内の北東側火口壁には温度が 120 度以上の高い領域がありました。また、火口縁上にもやや温度の高い領域があり、最も高い部分は 86.4 度でした(図 5)。

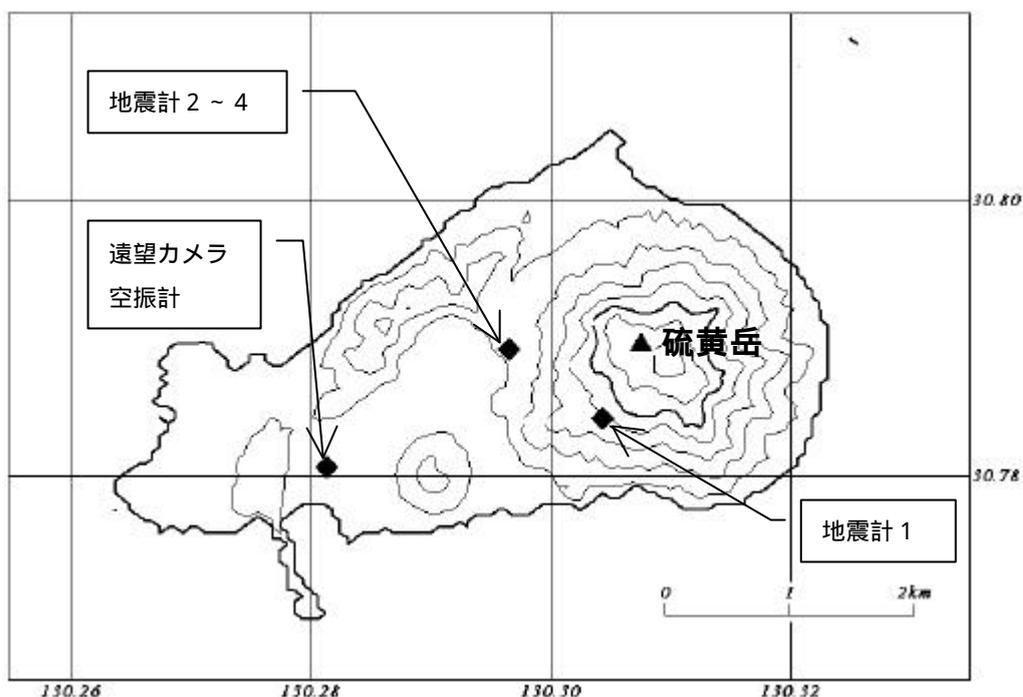


図 1 観測点位置図

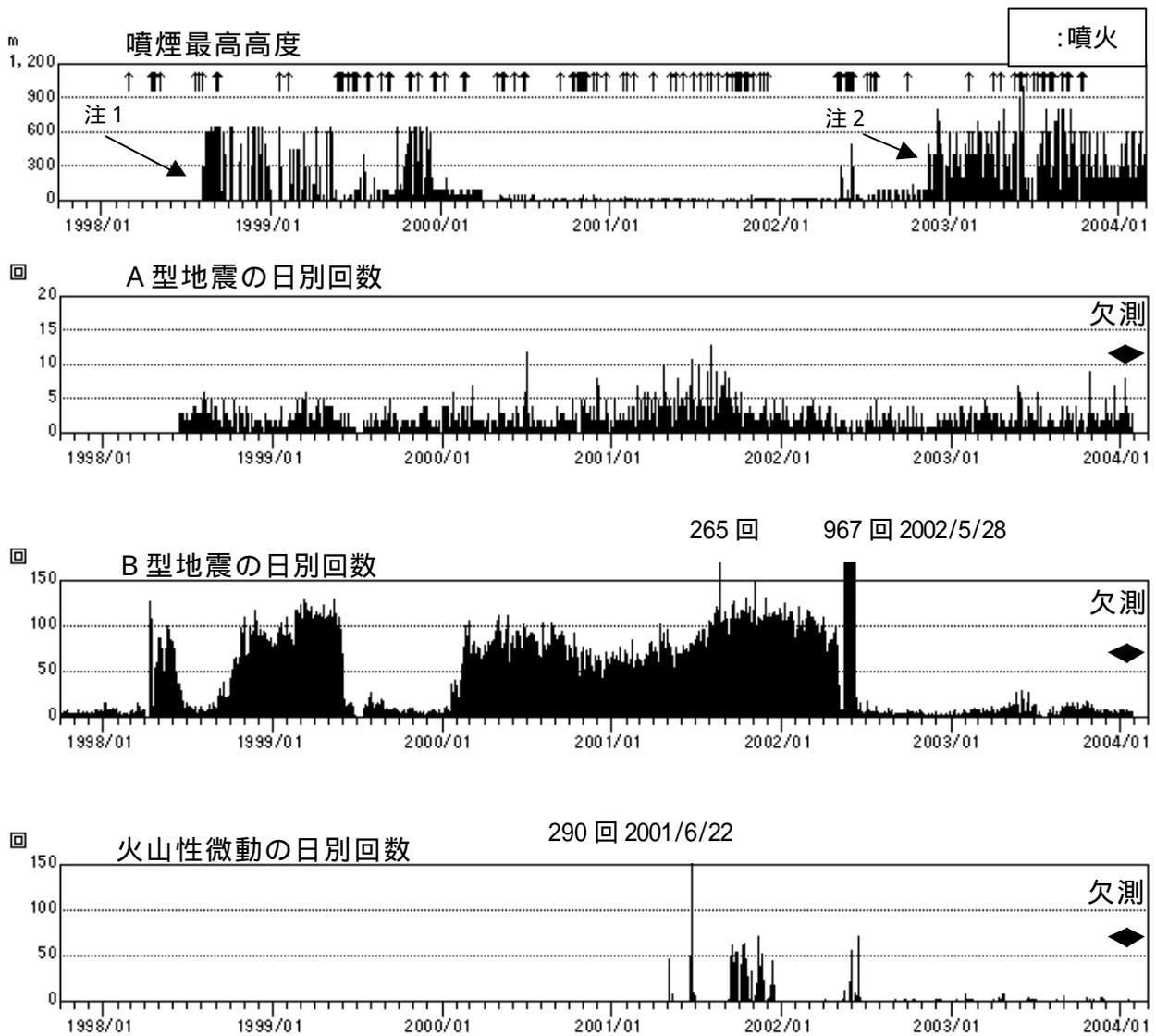


図2 火山活動経過図(1997年9月10日~2004年2月29日)

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始

(1月25日00時44分から2月26日17時00分まで雷災により震動観測データ欠測)

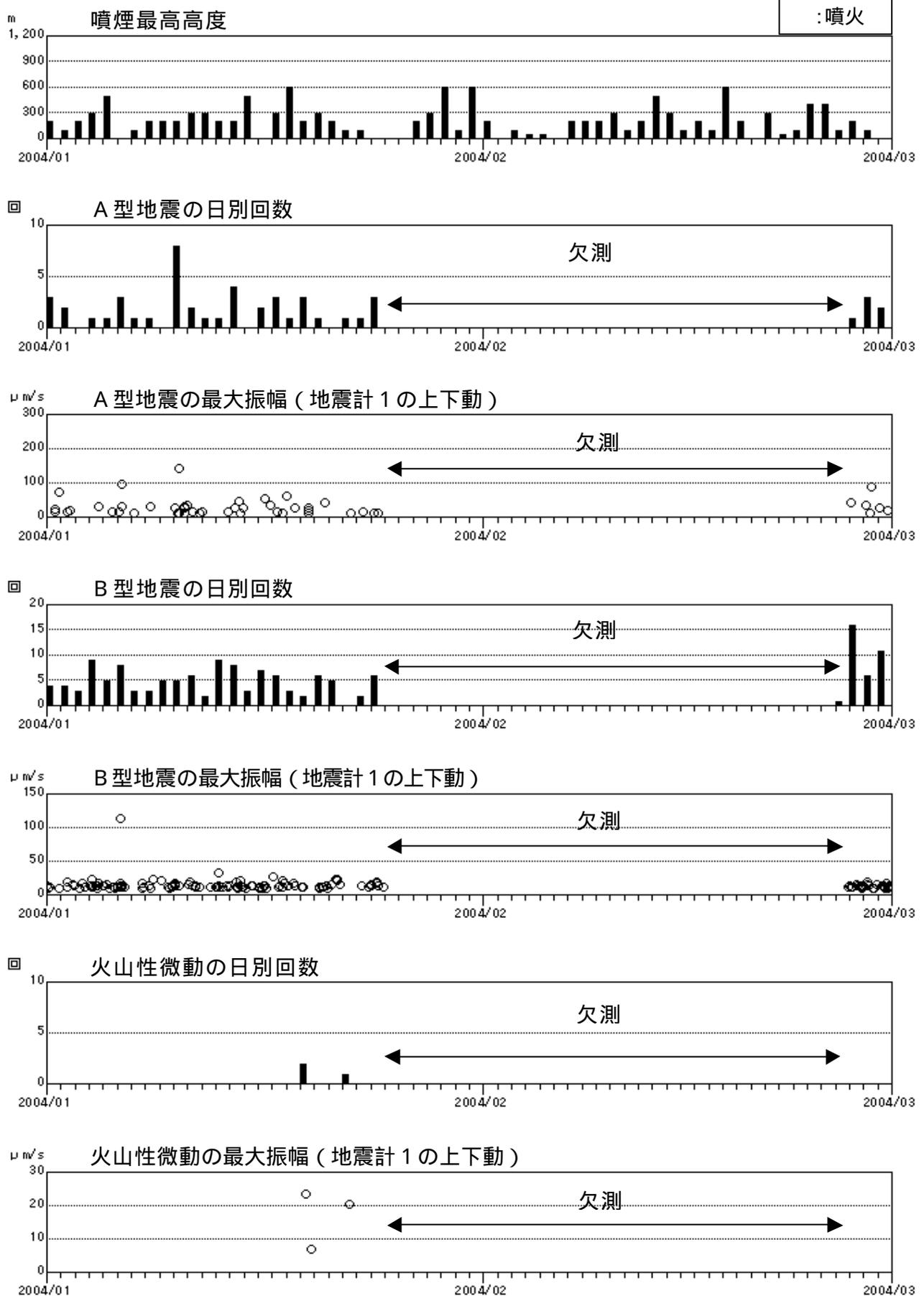


図3 薩摩硫黄島火山活動経過図(2004年1月1日~2004年2月29日)  
 (1月25日00時44分から2月26日17時00分まで雷災により震動観測データ欠測)

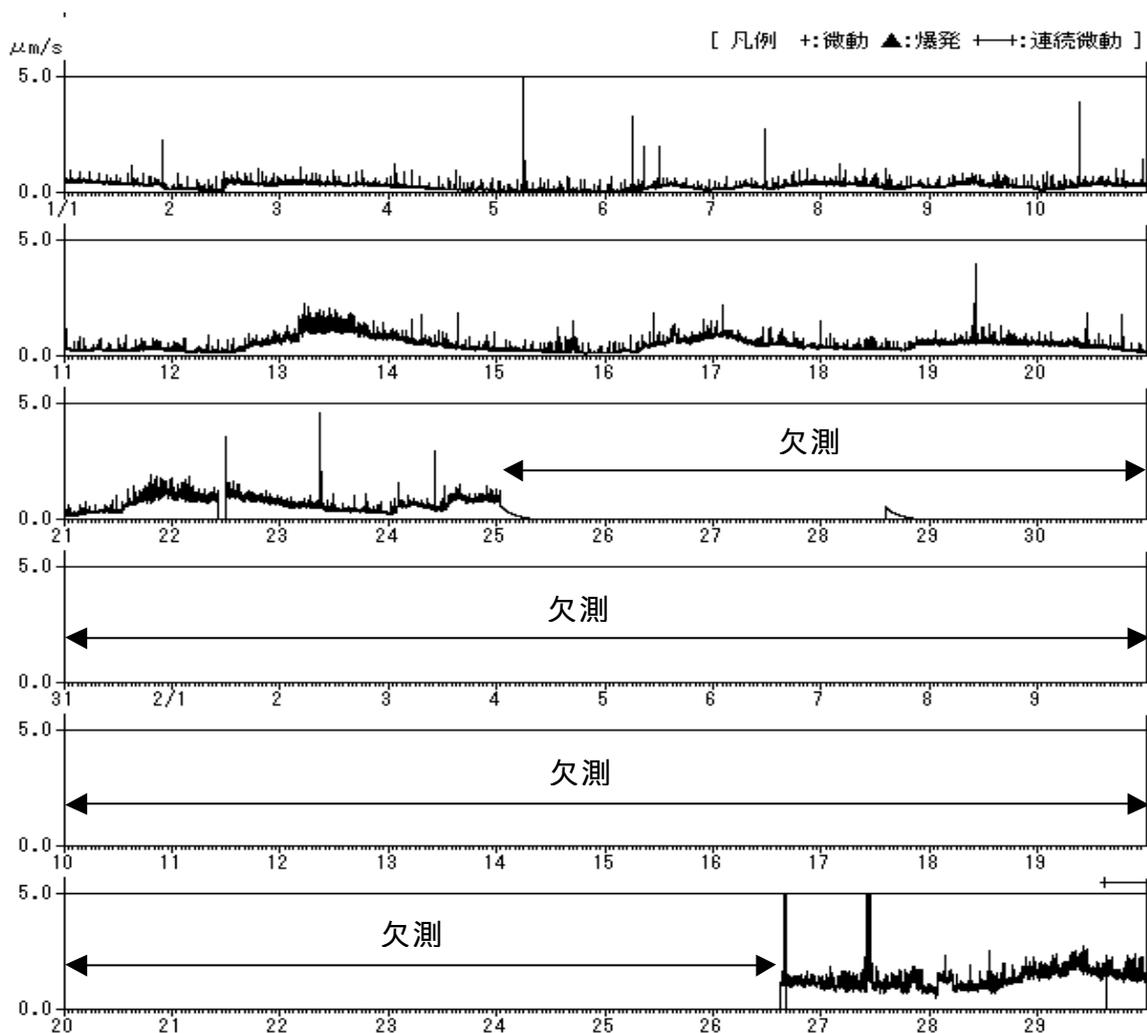
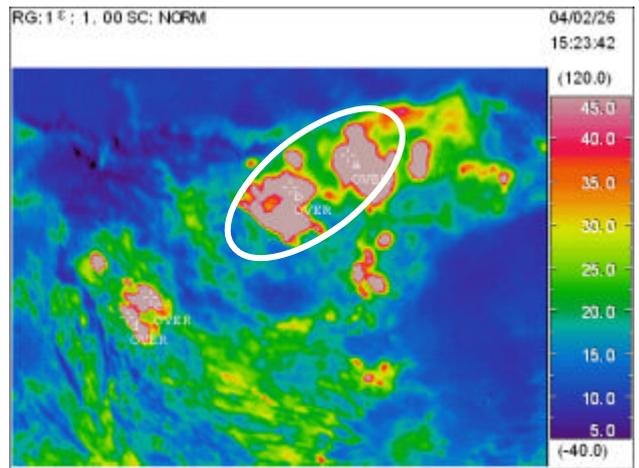
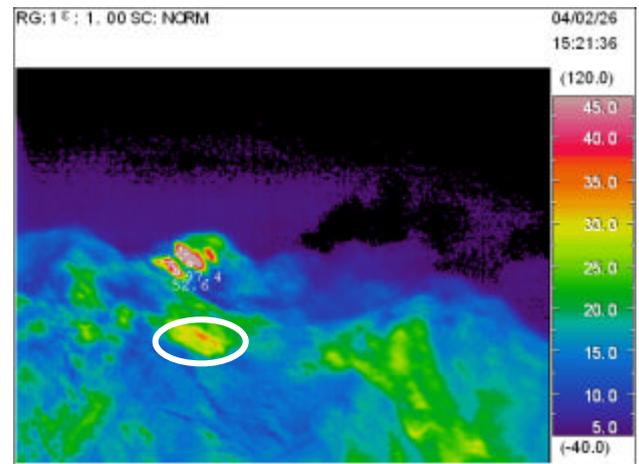


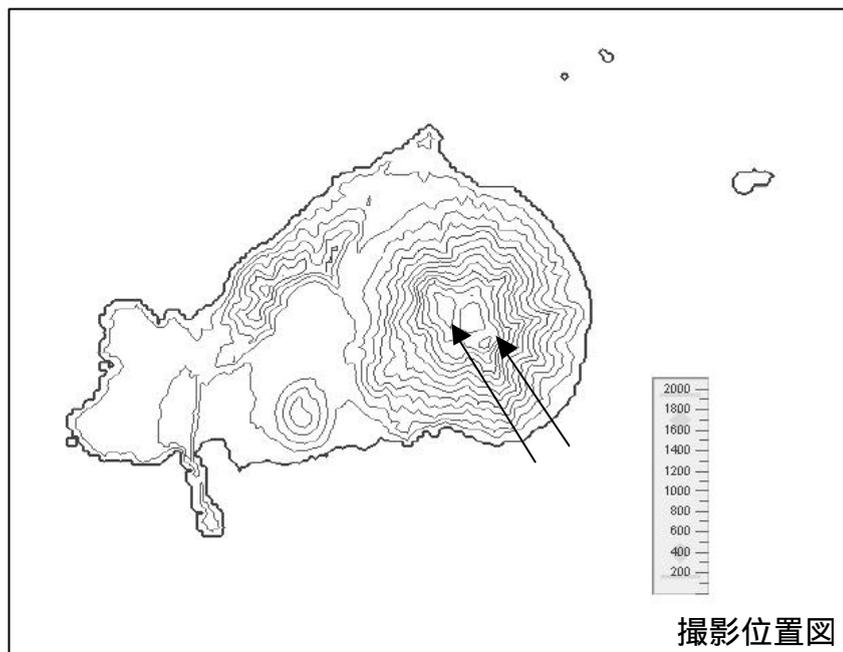
図4 1分間平均振幅の時間変化(地震計1上下動)(2004年1月1日~2004年2月29日)  
(1月25日00時44分から2月26日17時00分まで雷災により震動観測データ欠測)



硫黄岳上空南東側より撮影(白囲みが温度の高かった領域)



硫黄岳上空南東側より撮影(白囲みは南東側火口縁上の噴気)



撮影位置図

図 5 薩摩硫黄島の噴気活動(2月26日撮影)  
火口南側から噴煙を中量で、火口内の状況は噴煙のため不明。